

丸の内会場
+ オンライン
同時開催！コーポレートガバナンス・コード 10年の
振り返りと今後の展望

日時

2025年1月8日(水) 16:00~17:30 (受付開始 15:30)

※ オンラインでの同時配信を実施します。後日の録画配信も予定しております。

会場

AP 東京丸の内 (東京都千代田区丸の内 1-1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー3階)

参加費

会員 3,300円 / 一般 6,600円 (税込) ※ 事前のオンライン決済をお願いいたします。

2015年、我が国におけるコーポレートガバナンス・コードの導入は、日本経済停滞の打開を狙ったものでしたが、取締役会や内部統制の役割、成長戦略、事業ポートフォリオ見直し、企業価値・資本コストや人的資本重視など、日本企業の経営改革への多大なインパクトを与えるものとなりました。

当時、コーポレートガバナンス・コードの導入を金融庁の企業開示課長としてリードされた油布志行氏は、10年目となる2024年夏の金融庁人事で企画市場局長に就任され、再び日本のコーポレートガバナンス改革に深く関わられることとなりました。今回のセミナーでは、コード導入時の油布様の想いや工夫されたこと、2回にわたる改定についてのレビュー、また2024年に発表になったアクションプランの概要について、座談会方式でお話いただくこととなりました。

セミナーの後半はご出席の皆様との討論の場を設けます。アクションプランで示された取り組み課題と、その先にある社外取締役多数のボード、「監督」と「執行」の双方の強化、内部監査の機能充実などの課題について、実践されるお立場にある皆様からご意見をいただきながら議論を深めたいと思います。是非ご参加ください。

講師

油布 志行(ゆふ もとゆき)氏

金融庁 企画市場局長

1989年大蔵省入省。1999年から2001年まで金融監督庁・金融庁に勤務。2004年から4年間にわたりOECD(経済協力開発機構)で国際公務員として勤務し、アジア諸国の企業統治プロジェクト等を担当。2012年からは金融庁総合政策室長としてNISAの導入を担当。2013年から2015年まで同庁企業開示課長を務め、「日本版スチュワードシップ・コード」「コーポレートガバナンス・コード」の策定を担当。2015年からは総合政策担当参事官としてつみためNISAの導入に携わる。2018年監督局審議官(地方銀行担当)、2019年企画市場局審議官(開示・企業統治担当)、2020年同(市場担当)、2021年証券取引等監視委員会事務局長、2023年総合政策局長。2024年7月より現職。東京大学法学部卒業、コロンビア大学(国際関係論修士)。



今後の勉強会予定

※ 2月の月例勉強会は休会となります

第160回

2025年3月開催予定

詳細が決まり次第ご案内いたします。

お申込み

詳細はご案内メールに記載しております。メールが届かない方は下記までご連絡ください。

[お問合せ先] 実践コーポレートガバナンス研究会 セミナー事務局 seminar@icgj.org

会場のご案内

会場 AP 東京丸の内

住所 東京都千代田区丸の内 1-1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー3階
Tel:03-5224-5109

交通 JR・丸ノ内線「東京駅」／丸の内線・千代田線・半蔵門線「大手町駅」から徒歩約4分
都営三田線「大手町駅」D6出口直結



主催

ICGJ

一般社団法人実践コーポレートガバナンス研究会

ウェブサイト: www.icgj.org | Mail: contact@icgj.org | Tel: 03-3539-3208

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-18-6 クロスオフィス内幸町 3F